

Q0001

システム開発

タグ：要件定義

用語：要件定義の確認ポイント1：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

次の説明に最も合う用語はどれか。利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

- A. 要件定義
- B. 外部設計
- C. 単体テスト
- D. バージョン管理

答え・解説

Q0001 正答：A. 要件定義

解説：要件定義は、利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

システム開発

タグ：要件定義

用語：要件定義の確認ポイント2：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

要件定義の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程
- B. 利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程
- C. 個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- D. ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

答え・解説

Q0002 正答：B. 利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

解説：要件定義の要点は「利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

システム開発

タグ：要件定義

用語：要件定義の確認ポイント3：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「要件定義」である。

- A. 外部設計：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程
- B. 単体テスト：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程
- C. 要件定義：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程
- D. バージョン管理：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

答え・解説

Q0003 正答：C. 要件定義：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

解説：正しい組合せは「要件定義：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0004

システム開発

タグ：要件定義

用語：要件定義の確認ポイント4：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

「要件定義」は、利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。要件定義は利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

システム開発

タグ：要件定義

用語：要件定義の確認ポイント5：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

組織が「利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 要件定義
- B. 外部設計
- C. 単体テスト
- D. バージョン管理

答え・解説

Q0005 正答：A. 要件定義

解説：この目的に対応するのは要件定義である。利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程という機能・考え方を持つためである。

Q0006

システム開発

タグ：要件定義

用語：要件定義の確認ポイント6：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

「要件定義」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み
- B. 利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程
- C. 個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- D. 利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

答え・解説

Q0006 正答：B. 利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

解説：要件定義は利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

システム開発

タグ：要件定義

用語：要件定義の確認ポイント7：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

「要件定義」は、利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述は外部設計の説明である。要件定義は利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程。

Q0008

システム開発

タグ：要件定義

用語：要件定義の確認ポイント8：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

次の状況で中心となる論点はどれか。「利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程」ことが求められている。

- A. 単体テスト
- B. バージョン管理
- C. 外部設計
- D. 要件定義

答え・解説

Q0008 正答：D. 要件定義

解説：中心となる論点は要件定義である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

システム開発

タグ：要件定義

用語：要件定義の確認ポイント9：利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

「利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程」という特徴を持つものを選べ。

- A. 要件定義
- B. バージョン管理
- C. 単体テスト
- D. 外部設計

答え・解説

Q0009 正答：A. 要件定義

解説：要件定義が該当する。定義は利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0010

システム開発

タグ：外部設計

用語：外部設計の確認ポイント1：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

次の説明に最も合う用語はどれか。利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

- A. 内部設計
- B. 外部設計
- C. 結合テスト
- D. 継続的インテグレーション

答え・解説

Q0010 正答：B. 外部設計

解説：外部設計は、利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0011

システム開発

タグ：外部設計

用語：外部設計の確認ポイント2：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

外部設計の説明として最も適切なものはどれか。

- A. プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程
- B. 複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト
- C. 利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程
- D. 変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

答え・解説

Q0011 正答：C. 利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

解説：外部設計の要点は「利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0012

システム開発

タグ：外部設計

用語：外部設計の確認ポイント3：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「外部設計」である。

- A. 内部設計：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程
- B. 結合テスト：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程
- C. 継続的インテグレーション：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程
- D. 外部設計：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

答え・解説

Q0012 正答：D. 外部設計：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

解説：正しい組合せは「外部設計：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0013

システム開発

タグ：外部設計

用語：外部設計の確認ポイント4：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

「外部設計」は、利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0013 正答：○

解説：正しい。外部設計は利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0014

システム開発

タグ：外部設計

用語：外部設計の確認ポイント5：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

組織が「利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 内部設計
- B. 外部設計
- C. 結合テスト
- D. 継続的インテグレーション

答え・解説

Q0014 正答：B. 外部設計

解説：この目的に対応するのは外部設計である。利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程という機能・考え方を持つためである。

Q0015

システム開発

タグ：外部設計

用語：外部設計の確認ポイント6：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

「外部設計」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣
- B. 複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト
- C. 利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程
- D. プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

答え・解説

Q0015 正答：C. 利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

解説：外部設計は利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0016

システム開発

タグ：外部設計

用語：外部設計の確認ポイント7：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

「外部設計」は、プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0016 正答：×

解説：誤り。記述は内部設計の説明である。外部設計は利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程。

Q0017

システム開発

タグ：外部設計

用語：外部設計の確認ポイント8：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

次の状況で中心となる論点はどれか。「利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程」ことが求められている。

- A. 外部設計
- B. 結合テスト
- C. 継続的インテグレーション
- D. 内部設計

答え・解説

Q0017 正答：A. 外部設計

解説：中心となる論点は外部設計である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0018

システム開発

タグ：外部設計

用語：外部設計の確認ポイント9：利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

「利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程」という特徴を持つものを選べ。

- A. 継続的インテグレーション
- B. 外部設計
- C. 結合テスト
- D. 内部設計

答え・解説

Q0018 正答：B. 外部設計

解説：外部設計が該当する。定義は利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0019

システム開発

タグ：内部設計

用語：内部設計の確認ポイント1：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

次の説明に最も合う用語はどれか。プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

- A. 単体テスト
- B. システムテスト
- C. 内部設計
- D. アジャイル開発

答え・解説

Q0019 正答：C. 内部設計

解説：内部設計は、プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0020

システム開発

タグ：内部設計

用語：内部設計の確認ポイント2：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

内部設計の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- B. 完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト
- C. 短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法
- D. プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

答え・解説

Q0020 正答：D. プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

解説：内部設計の要点は「プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0021

システム開発

タグ：内部設計

用語：内部設計の確認ポイント3：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「内部設計」である。

- A. 内部設計：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程
- B. 単体テスト：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程
- C. システムテスト：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程
- D. アジャイル開発：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

答え・解説

Q0021 正答：A. 内部設計：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

解説：正しい組合せは「内部設計：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0022

システム開発

タグ：内部設計

用語：内部設計の確認ポイント4：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

「内部設計」は、プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0022 正答：○

解説：正しい。内部設計はプログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0023

システム開発

タグ：内部設計

用語：内部設計の確認ポイント5：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

組織が「プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 単体テスト
- B. システムテスト
- C. 内部設計
- D. アジャイル開発

答え・解説

Q0023 正答：C. 内部設計

解説：この目的に対応するのは内部設計である。プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程という機能・考え方を持つためである。

Q0024

システム開発

タグ：内部設計

用語：内部設計の確認ポイント6：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

「内部設計」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法
- B. 完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト
- C. 個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- D. プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

答え・解説

Q0024 正答：D. プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

解説：内部設計はプログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0025

システム開発

タグ：内部設計

用語：内部設計の確認ポイント7：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

「内部設計」は、個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0025 正答：×

解説：誤り。記述は単体テストの説明である。内部設計はプログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程。

Q0026

システム開発

タグ：内部設計

用語：内部設計の確認ポイント8：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

次の状況で中心となる論点はどれか。「プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程」ことが求められている。

A. システムテスト

B. 内部設計

C. アジャイル開発

D. 単体テスト

答え・解説

Q0026 正答：B. 内部設計

解説：中心となる論点は内部設計である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0027

システム開発

タグ：内部設計

用語：内部設計の確認ポイント9：プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

「プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程」という特徴を持つものを選び。

- A. アジャイル開発
- B. システムテスト
- C. 内部設計
- D. 単体テスト

答え・解説

Q0027 正答：C. 内部設計

解説：内部設計が該当する。定義はプログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0028

システム開発

タグ：単体テスト

用語：単体テストの確認ポイント1：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

次の説明に最も合う用語はどれか。個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

- A. 結合テスト
- B. 回帰テスト
- C. 要件定義
- D. 単体テスト

答え・解説

Q0028 正答：D. 単体テスト

解説：単体テストは、個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0029

システム開発

タグ：単体テスト

用語：単体テストの確認ポイント2：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

単体テストの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- B. 複数モジュールのインターフェースや連携を確認するテスト
- C. 変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト
- D. 利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

答え・解説

Q0029 正答：A. 個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

解説：単体テストの要点は「個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0030

システム開発

タグ：単体テスト

用語：単体テストの確認ポイント3：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「単体テスト」である。

- A. 結合テスト：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- B. 単体テスト：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- C. 回帰テスト：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- D. 要件定義：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

答え・解説

Q0030 正答：B. 単体テスト：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

解説：正しい組合せは「単体テスト：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0031

システム開発

タグ：単体テスト

用語：単体テストの確認ポイント4：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

「単体テスト」は、個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0031 正答：○

解説：正しい。単体テストは個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0032

システム開発

タグ：単体テスト

用語：単体テストの確認ポイント5：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

組織が「個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 結合テスト
- B. 回帰テスト
- C. 要件定義
- D. 単体テスト

答え・解説

Q0032 正答：D. 単体テスト

解説：この目的に対応するのは単体テストである。個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテストという機能・考え方を持つためである。

Q0033

システム開発

タグ：単体テスト

用語：単体テストの確認ポイント6：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

「単体テスト」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- B. 利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程
- C. 変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト
- D. 複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

答え・解説

Q0033 正答：A. 個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

解説：単体テストは個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0034

システム開発

タグ：単体テスト

用語：単体テストの確認ポイント7：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

「単体テスト」は、複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：×

解説：誤り。記述は結合テストの説明である。単体テストは個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト。

Q0035

システム開発

タグ：単体テスト

用語：単体テストの確認ポイント8：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

次の状況で中心となる論点はどれか。「個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト」ことが求められている。

- A. 回帰テスト
- B. 要件定義
- C. 単体テスト
- D. 結合テスト

答え・解説

Q0035 正答：C. 単体テスト

解説：中心となる論点は単体テストである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0036

システム開発

タグ：単体テスト

用語：単体テストの確認ポイント9：個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト

「個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト」という特徴を持つものを選べ。

- A. 要件定義
- B. 回帰テスト
- C. 結合テスト
- D. 単体テスト

答え・解説

Q0036 正答：D. 単体テスト

解説：単体テストが該当する。定義は個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテストであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0037

システム開発

タグ：結合テスト

用語：結合テストの確認ポイント1：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

次の説明に最も合う用語はどれか。複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

- A. 結合テスト
- B. システムテスト
- C. バージョン管理
- D. 外部設計

答え・解説

Q0037 正答：A. 結合テスト

解説：結合テストは、複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0038

システム開発

タグ：結合テスト

用語：結合テストの確認ポイント2：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

結合テストの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト
- B. 複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト
- C. ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み
- D. 利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程

答え・解説

Q0038 正答：B. 複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

解説：結合テストの要点は「複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0039

システム開発

タグ：結合テスト

用語：結合テストの確認ポイント3：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「結合テスト」である。

- A. システムテスト：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト
- B. バージョン管理：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト
- C. 結合テスト：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト
- D. 外部設計：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

答え・解説

Q0039 正答：C. 結合テスト：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

解説：正しい組合せは「結合テスト：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0040

システム開発

タグ：結合テスト

用語：結合テストの確認ポイント4：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

「結合テスト」は、複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0040 正答：○

解説：正しい。結合テストは複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0041

システム開発

タグ：結合テスト

用語：結合テストの確認ポイント5：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

組織が「複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 結合テスト
- B. システムテスト
- C. バージョン管理
- D. 外部設計

答え・解説

Q0041 正答：A. 結合テスト

解説：この目的に対応するのは結合テストである。複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテストという機能・考え方を持つためである。

Q0042

システム開発

タグ：結合テスト

用語：結合テストの確認ポイント6：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

「結合テスト」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程
- B. 複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト
- C. ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み
- D. 完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

答え・解説

Q0042 正答：B. 複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

解説：結合テストは複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0043

システム開発

タグ：結合テスト

用語：結合テストの確認ポイント7：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

「結合テスト」は、完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0043 正答：×

解説：誤り。記述はシステムテストの説明である。結合テストは複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト。

Q0044

システム開発

タグ：結合テスト

用語：結合テストの確認ポイント8：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

次の状況で中心となる論点はどれか。「複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト」ことが求められている。

- A. バージョン管理
- B. 外部設計
- C. システムテスト
- D. 結合テスト

答え・解説

Q0044 正答：D. 結合テスト

解説：中心となる論点は結合テストである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0045

システム開発

タグ：結合テスト

用語：結合テストの確認ポイント9：複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

「複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト」という特徴を持つものを選べ。

- A. 結合テスト
- B. 外部設計
- C. バージョン管理
- D. システムテスト

答え・解説

Q0045 正答：A. 結合テスト

解説：結合テストが該当する。定義は複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテストであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0046

システム開発

タグ：システムテスト

用語：システムテストの確認ポイント1：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

次の説明に最も合う用語はどれか。完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

- A. 回帰テスト
- B. システムテスト
- C. 継続的インテグレーション
- D. 内部設計

答え・解説

Q0046 正答：B. システムテスト

解説：システムテストは、完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0047

システム開発

タグ：システムテスト

用語：システムテストの確認ポイント2：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

システムテストの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト
- B. 変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣
- C. 完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト
- D. プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程

答え・解説

Q0047 正答：C. 完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

解説：システムテストの要点は「完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0048

システム開発

タグ：システムテスト

用語：システムテストの確認ポイント3：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「システムテスト」である。

- A. 回帰テスト：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト
- B. 継続的インテグレーション：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト
- C. 内部設計：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト
- D. システムテスト：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

答え・解説

Q0048 正答：D. システムテスト：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

解説：正しい組合せは「システムテスト：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0049

システム開発

タグ：システムテスト

用語：システムテストの確認ポイント4：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

「システムテスト」は、完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0049 正答：○

解説：正しい。システムテストは完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0050

システム開発

タグ：システムテスト

用語：システムテストの確認ポイント5：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

組織が「完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 回帰テスト
- B. システムテスト
- C. 継続的インテグレーション
- D. 内部設計

答え・解説

Q0050 正答：B. システムテスト

解説：この目的に対応するのはシステムテストである。完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテストという機能・考え方を持つためである。

Q0051

システム開発

タグ：システムテスト

用語：システムテストの確認ポイント6：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

「システムテスト」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程
- B. 変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣
- C. 完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト
- D. 変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

答え・解説

Q0051 正答：C. 完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

解説：システムテストは完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0052

システム開発

タグ：システムテスト

用語：システムテストの確認ポイント7：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

「システムテスト」は、変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0052 正答：×

解説：誤り。記述は回帰テストの説明である。システムテストは完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト。

Q0053

システム開発

タグ：システムテスト

用語：システムテストの確認ポイント8：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

次の状況で中心となる論点はどれか。「完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト」ことが求められている。

- A. システムテスト
- B. 継続的インテグレーション
- C. 内部設計
- D. 回帰テスト

答え・解説

Q0053 正答：A. システムテスト

解説：中心となる論点はシステムテストである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0054

システム開発

タグ：システムテスト

用語：システムテストの確認ポイント9：完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

「完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト」という特徴を持つものを選べ。

- A. 内部設計
- B. システムテスト
- C. 継続的インテグレーション
- D. 回帰テスト

答え・解説

Q0054 正答：B. システムテスト

解説：システムテストが該当する。定義は完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテストであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0055

システム開発

タグ：回帰テスト

用語：回帰テストの確認ポイント1：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

次の説明に最も合う用語はどれか。変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

- A. バージョン管理
- B. アジャイル開発
- C. 回帰テスト
- D. 単体テスト

答え・解説

Q0055 正答：C. 回帰テスト

解説：回帰テストは、変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0056

システム開発

タグ：回帰テスト

用語：回帰テストの確認ポイント2：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

回帰テストの説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み
- B. 短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法
- C. 個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- D. 変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

答え・解説

Q0056 正答：D. 変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

解説：回帰テストの要点は「変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0057

システム開発

タグ：回帰テスト

用語：回帰テストの確認ポイント3：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「回帰テスト」である。

- A. 回帰テスト：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト
- B. バージョン管理：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト
- C. アジャイル開発：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト
- D. 単体テスト：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

答え・解説

Q0057 正答：A. 回帰テスト：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

解説：正しい組合せは「回帰テスト：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0058

システム開発

タグ：回帰テスト

用語：回帰テストの確認ポイント4：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

「回帰テスト」は、変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0058 正答：○

解説：正しい。回帰テストは変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0059

システム開発

タグ：回帰テスト

用語：回帰テストの確認ポイント5：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

組織が「変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. バージョン管理
- B. アジャイル開発
- C. 回帰テスト
- D. 単体テスト

答え・解説

Q0059 正答：C. 回帰テスト

解説：この目的に対応するのは回帰テストである。変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテストという機能・考え方を持つためである。

Q0060

システム開発

タグ：回帰テスト

用語：回帰テストの確認ポイント6：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

「回帰テスト」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 個々のモジュールが設計どおり動くかを確認するテスト
- B. 短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法
- C. ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み
- D. 変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

答え・解説

Q0060 正答：D. 変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

解説：回帰テストは変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0061

システム開発

タグ：回帰テスト

用語：回帰テストの確認ポイント7：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

「回帰テスト」は、ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0061 正答：×

解説：誤り。記述はバージョン管理の説明である。回帰テストは変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト。

Q0062

システム開発

タグ：回帰テスト

用語：回帰テストの確認ポイント8：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

次の状況で中心となる論点はどれか。「変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト」ことが求められている。

A. アジャイル開発

B. 回帰テスト

C. 単体テスト

D. バージョン管理

答え・解説

Q0062 正答：B. 回帰テスト

解説：中心となる論点は回帰テストである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0063

システム開発

タグ：回帰テスト

用語：回帰テストの確認ポイント9：変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

「変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト」という特徴を持つものを選べ。

- A. 単体テスト
- B. アジャイル開発
- C. 回帰テスト
- D. バージョン管理

答え・解説

Q0063 正答：C. 回帰テスト

解説：回帰テストが該当する。定義は変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテストであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0064

システム開発

タグ：バージョン管理

用語：バージョン管理の確認ポイント1：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

次の説明に最も合う用語はどれか。ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

- A. 継続的インテグレーション
- B. 要件定義
- C. 結合テスト
- D. バージョン管理

答え・解説

Q0064 正答：D. バージョン管理

解説：バージョン管理は、ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0065

システム開発

タグ：バージョン管理

用語：バージョン管理の確認ポイント2：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

バージョン管理の説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み
- B. 変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣
- C. 利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程
- D. 複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト

答え・解説

Q0065 正答：A. ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

解説：バージョン管理の要点は「ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0066

システム開発

タグ：バージョン管理

用語：バージョン管理の確認ポイント3：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「バージョン管理」である。

- A. 継続的インテグレーション：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み
- B. バージョン管理：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み
- C. 要件定義：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み
- D. 結合テスト：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

答え・解説

Q0066 正答：B. バージョン管理：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

解説：正しい組合せは「バージョン管理：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0067

システム開発

タグ：バージョン管理

用語：バージョン管理の確認ポイント4：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

「バージョン管理」は、ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0067 正答：○

解説：正しい。バージョン管理はソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0068

システム開発

タグ：バージョン管理

用語：バージョン管理の確認ポイント5：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

組織が「ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 継続的インテグレーション
- B. 要件定義
- C. 結合テスト
- D. バージョン管理

答え・解説

Q0068 正答：D. バージョン管理

解説：この目的に対応するのはバージョン管理である。ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組みという機能・考え方を持つためである。

Q0069

システム開発

タグ：バージョン管理

用語：バージョン管理の確認ポイント6：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

「バージョン管理」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み
- B. 複数モジュールのインタフェースや連携を確認するテスト
- C. 利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程
- D. 変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

答え・解説

Q0069 正答：A. ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

解説：バージョン管理はソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0070

システム開発

タグ：バージョン管理

用語：バージョン管理の確認ポイント7：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

「バージョン管理」は、変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：誤り。記述は継続的インテグレーションの説明である。バージョン管理はソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み。

Q0071

システム開発

タグ：バージョン管理

用語：バージョン管理の確認ポイント8：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

次の状況で中心となる論点はどれか。「ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み」ことが求められている。

- A. 要件定義
- B. 結合テスト
- C. バージョン管理
- D. 継続的インテグレーション

答え・解説

Q0071 正答：C. バージョン管理

解説：中心となる論点はバージョン管理である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0072

システム開発

タグ：バージョン管理

用語：バージョン管理の確認ポイント9：ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み

「ソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組み」という特徴を持つものを選べ。

- A. 結合テスト
- B. 要件定義
- C. 継続的インテグレーション
- D. バージョン管理

答え・解説

Q0072 正答：D. バージョン管理

解説：バージョン管理が該当する。定義はソースコードなどの変更履歴と版を管理する仕組みであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0073

システム開発

タグ：継続的インテグレーション

用語：継続的インテグレーションの確認ポイント1：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

次の説明に最も合う用語はどれか。変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

- A. 継続的インテグレーション
- B. アジャイル開発
- C. 外部設計
- D. システムテスト

答え・解説

Q0073 正答：A. 継続的インテグレーション

解説：継続的インテグレーションは、変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0074

システム開発

タグ：継続的インテグレーション

用語：継続的インテグレーションの確認ポイント2：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

継続的インテグレーションの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法
- B. 変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣
- C. 利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程
- D. 完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト

答え・解説

Q0074 正答：B. 変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

解説：継続的インテグレーションの要点は「変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0075

システム開発

タグ：継続的インテグレーション

用語：継続的インテグレーションの確認ポイント3：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「継続的インテグレーション」である。

- A. アジャイル開発：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣
- B. 外部設計：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣
- C. 継続的インテグレーション：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣
- D. システムテスト：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

答え・解説

Q0075 正答：C. 継続的インテグレーション：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

解説：正しい組合せは「継続的インテグレーション：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0076

システム開発

タグ：継続的インテグレーション

用語：継続的インテグレーションの確認ポイント4：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

「継続的インテグレーション」は、変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0076 正答：○

解説：正しい。継続的インテグレーションは変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0077

システム開発

タグ：継続的インテグレーション

用語：継続的インテグレーションの確認ポイント5：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

組織が「変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 継続的インテグレーション
- B. アジャイル開発
- C. 外部設計
- D. システムテスト

答え・解説

Q0077 正答：A. 継続的インテグレーション

解説：この目的に対応するのは継続的インテグレーションである。変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣という機能・考え方を持つためである。

Q0078

システム開発

タグ：継続的インテグレーション

用語：継続的インテグレーションの確認ポイント6：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

「継続的インテグレーション」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 完成したシステム全体が要件を満たすかを確認するテスト
- B. 変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣
- C. 利用者から見える画面、帳票、インタフェースなどを設計する工程
- D. 短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

答え・解説

Q0078 正答：B. 変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

解説：継続的インテグレーションは変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0079

システム開発

タグ：継続的インテグレーション

用語：継続的インテグレーションの確認ポイント7：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

「継続的インテグレーション」は、短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0079 正答：×

解説：誤り。記述はアジャイル開発の説明である。継続的インテグレーションは変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣。

Q0080

システム開発

タグ：継続的インテグレーション

用語：継続的インテグレーションの確認ポイント8：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

次の状況で中心となる論点はどれか。「変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣」ことが求められている。

- A. 外部設計
- B. システムテスト
- C. アジャイル開発
- D. 継続的インテグレーション

答え・解説

Q0080 正答：D. 継続的インテグレーション

解説：中心となる論点は継続的インテグレーションである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0081

システム開発

タグ：継続的インテグレーション

用語：継続的インテグレーションの確認ポイント9：変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣

「変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣」という特徴を持つもの
を選べ。

- A. 継続的インテグレーション
- B. システムテスト
- C. 外部設計
- D. アジャイル開発

答え・解説

Q0081 正答：A. 継続的インテグレーション

解説：継続的インテグレーションが該当する。定義は変更を頻繁に統合し自動ビルド・テストする開発習慣であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0082

システム開発

タグ：アジャイル開発

用語：アジャイル開発の確認ポイント1：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

次の説明に最も合う用語はどれか。短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

- A. 要件定義
- B. アジャイル開発
- C. 内部設計
- D. 回帰テスト

答え・解説

Q0082 正答：B. アジャイル開発

解説：アジャイル開発は、短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0083

システム開発

タグ：アジャイル開発

用語：アジャイル開発の確認ポイント2：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

アジャイル開発の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程
- B. プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程
- C. 短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法
- D. 変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト

答え・解説

Q0083 正答：C. 短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

解説：アジャイル開発の要点は「短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0084

システム開発

タグ：アジャイル開発

用語：アジャイル開発の確認ポイント3：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「アジャイル開発」である。

- A. 要件定義：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法
- B. 内部設計：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法
- C. 回帰テスト：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法
- D. アジャイル開発：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

答え・解説

Q0084 正答：D. アジャイル開発：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

解説：正しい組合せは「アジャイル開発：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0085

システム開発

タグ：アジャイル開発

用語：アジャイル開発の確認ポイント4：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

「アジャイル開発」は、短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0085 正答：○

解説：正しい。アジャイル開発は短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0086

システム開発

タグ：アジャイル開発

用語：アジャイル開発の確認ポイント5：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

組織が「短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 要件定義
- B. アジャイル開発
- C. 内部設計
- D. 回帰テスト

答え・解説

Q0086 正答：B. アジャイル開発

解説：この目的に対応するのはアジャイル開発である。短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法という機能・考え方を持つためである。

Q0087

システム開発

タグ：アジャイル開発

用語：アジャイル開発の確認ポイント6：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

「アジャイル開発」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 変更によって既存機能へ悪影響がないことを再確認するテスト
- B. プログラム構造、データ構造、モジュールなど内部仕様を設計する工程
- C. 短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法
- D. 利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程

答え・解説

Q0087 正答：C. 短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

解説：アジャイル開発は短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0088

システム開発

タグ：アジャイル開発

用語：アジャイル開発の確認ポイント7：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

「アジャイル開発」は、利用者や業務が必要とする機能・品質・制約を明確にする工程。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0088 正答：×

解説：誤り。記述は要件定義の説明である。アジャイル開発は短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法。

Q0089

システム開発

タグ：アジャイル開発

用語：アジャイル開発の確認ポイント8：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

次の状況で中心となる論点はどれか。「短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法」ことが求められている。

- A. アジャイル開発
- B. 内部設計
- C. 回帰テスト
- D. 要件定義

答え・解説

Q0089 正答：A. アジャイル開発

解説：中心となる論点はアジャイル開発である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0090

システム開発

タグ：アジャイル開発

用語：アジャイル開発の確認ポイント9：短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法

「短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法」という特徴を持つものを選べ。

- A. 回帰テスト
- B. アジャイル開発
- C. 内部設計
- D. 要件定義

答え・解説

Q0090 正答：B. アジャイル開発

解説：アジャイル開発が該当する。定義は短い反復で動く成果物とフィードバックを積み重ねる開発方法であり、他の候補とは機能が異なる。